

(様式第9)

長大総第436号
平成20

厚生労働大臣

殿

国立大学法人
学長 斎藤

長崎大学医学部・歯学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成19年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	98人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医 師	221人	261人	438.3人	看護業務補助	37人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	105人	64人	162.4人	理学療法士	9人	麻酔臨床検査技師	48人
薬剤師	25人	10人	35.0人	作業療法士	3人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	4人	検査その他の	0人
助産師	21人	0人	0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	612人	9人	618.7人	臨床工学技士	10人	医療社会事業従事者	7人
准看護師	1人	0人	1.0人	栄養士	2人	その他の技術員	9人
歯科衛生士	5人	6人	11.0人	歯科技工士	6人	事務職員	172人
管理栄養士	5人	3人	8.0人	診療放射線技師	34人	その他の職員	45人

(注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	666人	21人	687人
1日当たり平均外来患者数	1,088人	435人	1,523人
1日当たり平均調剤数			16,270剤

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	人
胎児心超音波検査	有・無	人
インプラント義歯	有・無	2人
顎顔面補綴	有・無	人
顎関節症の補綴学的治療	有・無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
CTガイド下気管支鏡検査	有・無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
成長障害のDNA診断	有・無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
重粒子線治療	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
31燐-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・無	人
脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	人
超音波骨折治療法	有・無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	人
膀胱水圧拡張術	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジネレーション法	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
腹腔鏡下子宫体がん根治手術	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	8人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	人
カフェイン併用化学療法	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ベーチェット病	51人	・モヤモヤ病(ウィルス動脈輪閉塞症)	42人
・多発性硬化症	39人	・ウェゲナー肉芽腫症	10人
・重症筋無力症	68人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	50人
・全身性エリテマトーデス	231人	・多系統萎縮症	13人
・スモン	0人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	4人
・再生不良性貧血	29人	・膿疱性乾癬	6人
・サルコイドーシス	76人	・広範脊柱管狭窄症	0人
・筋萎縮性側索硬化症	13人	・原発性胆汁性肝硬変	46人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	197人	・重症急性膵炎	2人
・特発性血小板減少性紫斑病	63人	・特発性大腿骨頭壊死症	54人
・結節性動脈周囲炎	27人	・混合性結合組織病	50人
・潰瘍性大腸炎	114人	・原発性免疫不全症候群	8人
・大動脈炎症候群	39人	・特発性間質性肺炎	15人
・ビュルガー病	11人	・網膜色素変性症	17人
・天疱瘡	14人	・プリオント病	1人
・脊髄小脳変性症	29人	・原発性肺高血圧症	6人
・クローン病	73人	・神経線維腫症	24人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	21人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・ペーキンソン病関連疾患	43人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	7人
・アミロイドーシス	8人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	2人
・後縦靭帯骨化症	32人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	1人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	3種類の検討会を毎月開催
剖 檢 の 状 況	剖検症例数 43例 剖検率 18.4%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
厚生労働科学研究費補助金 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業 関節リウマチの早期診断による発症及び重症化予防	江口 勝美	第一内科	39,000	補委 厚生労働省科学研究費
厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 免疫性神経疾患に関する調査研究	中村 龍文	第一内科	1,000	補委 厚生労働省科学研究費
厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 免疫性神経疾患に関する調査研究	本村 政勝	第一内科	900	補委 厚生労働省科学研究費
厚生労働科学研究費補助金 肝炎等克服緊急対策研究事業 肝硬変に対する治療に関する研究	中尾 一彦	第一内科	1,500	補委 厚生労働省科学研究費
厚生労働科学研究費補助金 医師主導治験 多発性筋炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺炎に対するタクロリズムの治験	川上 純	第一内科	2,500	補委 厚生労働省科学研究費
厚生労働科学研究費補助金 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業 リウマチ・アレルギー疾患の治療反応性予測因子の確立及びテラーメイド治療法の確立に関する研究	川上 純	第一内科	2,000	補委 厚生労働省科学研究費
厚生労働科学研究費補助金 厚生科学研究21世紀型医療開拓推進事業 糖尿病における血管合併症の発症予防と進展抑制に関する研究	川崎 英二	第一内科	250	補委 厚生労働省科学研究費
厚生労働科学研究費補助金 糖尿病予防のための戦略研究 課題3 (J-DOT3)	川崎 英二	第一内科	500	補委 厚生労働省科学研究費
厚生労働科学研究費補助金 治験推進研究事業 TAP-144-SR (3M) の球脊髄性筋萎縮症患者に対する第Ⅲ相二重盲検比較試験 (JASMITT-06DB)	辻野 彰	第一内科	2500	補委 厚生労働省科学研究費
放射線皮膚軟部組織障害に対する創傷治癒センターの国際協力の体制整備	秋田定伯	形成外科	17,030	補委 文部科学省科学研究費
プリオントロフィー病 2次感染に対する現実的滅菌法の開発研究	秋田定伯	形成外科	27,000	補委 厚生労働科学研究費
北タイにおけるHIV伝播とエイズ病態に関する宿主遺伝子多型研究	有吉 紅也	感染症内科	千円 11,700	補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費補助金
HIV感染とエイズ発症の阻止および治療に関わる基礎研究	有吉 紅也	感染症内科	8,500	補委 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
開発途上国における血液媒介疾患に対する総合的な対策の方に関する研究	有吉 紅也	感染症内科	1,000	補委 厚生労働省国際医療協力研究委託費
難治性白血病に対する標準的治療法確立に関する研究	宮崎 泰司	原研内科	千円 5,180	補委 厚生労働省科学研究費
高感受性悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	朝長 万左男	原研内科	1,200	補委 厚生労働省科学研究費

進行期難治性悪性B細胞リンパ腫に対する大量化學療法を併用した効果的治療に関する臨床研究	朝長 万左男	原研内科	1,500	補委	厚生労働省科学研究所費
成人T細胞白血病(ATL)に対する同種幹細胞移植療法の開発とそのHTLV-I排除機構の解明に関する研究	朝長 万左男	原研内科	1,000	補委	厚生労働省科学研究所費
成人難治性白血病の分子生物学的特徴に基づく治療法に関する研究	朝長 万左男	原研内科	12,050	補委	厚生労働省科学研究所費
白内障と放射線との関連についての文献レビュー	北岡 隆	眼科	800	補委	放射線影響研究所原爆症調査研究委託費
熱媒体の人体影響とその治療法に関する研究	隈上武志	眼科	1,200	補委	厚生労働省科学研究所費
マリネスコ・シェグレン症候群の疾患座局在同定と原因遺伝子検索	山田浩喜	眼科	2,990	補委	文部科学省科学研究所費
ヒトパピローマウイルス持続感染制御に関するゲノム医学からのアプローチ	増崎英明	産科婦人科	千円 4,000	補委	厚生労働省
マイクロキメリズムから見た妊娠と自己免疫疾患の関連—分子遺伝学的アプローチ—	中山大介	産科婦人科	千円 2,300	補委	日本学術振興会
母体血漿中へ流入する胎盤由来mRNAの同定とその臨床的意義に関する研究	三浦清徳	産科婦人科	千円 2,200	補委	文部科学省
母体血漿中へ流入する胎盤特異的mRNAを標的とした胎盤機能の網羅的かつ非侵襲的検査法の開発	三浦清徳	産科婦人科	千円 1,637,250	委	科学技術振興機構(JST)
胎盤機能の網羅的かつ非侵襲的検査法の開発に関する研究—母体血漿中へ流入する胎盤特異的mRNA用いて—	三浦清徳	産科婦人科	千円 2,000	補委	内藤記念科学財団
細菌由来エンドトキシンと骨盤内局所免疫機構との関連からみた子宮内膜症の病態解析	カレク・カーン	産科婦人科	千円 1,300	補委	日本学術振興会
レゾフィリンを使用した光化学治療とテガフル療法の併用によるアボトシス誘導効果	野中 美保子	顎・口腔再生外科室	千円 1,400	補委	文部科学省研究費
心筋虚血再灌流障害の克服RISK pathway及び抗酸化機構の制御に関する研究	澄川 耕二	麻酔科	千円 8,190	補委	文部科学省科学研究所費
気道平滑筋の収縮・弛緩機構の解明： β 遮断薬とRhoキナーゼ経路の関係	柴田 治	麻酔科	千円 910	補委	文部科学省科学研究所費
非閉塞性腸管虚血(NOMI)の実験的病態解析と臨床的薬物治療効果の検討	楨田 徹次	麻酔科	千円 1,560	補委	文部科学省科学研究所費
造血器腫瘍におけるMIC検査パラメータの確率と検診	上平 憲	検査部	千円 2,000	補委	文部科学省科学研究所費
造血器腫瘍における血中モトクロームの有効性	上平 憲	検査部	千円 1,000	補委	エーザイ(株)

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名・年月	題名	発表者氏名	所属部門
J Rheumatol 2007年 11月	Bone edema determined by magnetic resonance imaging reflects severe disease status in patients with early-stage rheumatoid arthritis.	玉井慎美	第一内科
Ann Rheum Dis 2007年 1月	Successful treatment of refractory neuro-Behcet's disease with infliximab: A case report to show its efficacy by magnetic resonance imaging, transcranial magnetic stimulation and cytokine profile.	藤川敬太	第一内科
J Immunol 2007年 4月	Altered B9-23 insulin, when administered intranasally with cholera toxin adjuvant, suppresses the expression of insulin autoantibodies and prevents diabetes.	吉林正和	第一内科
J Clin Endocrinol Metab 2007年 5月	Insulin gene/ <i>IDDM2</i> locus in Japanese type 1 diabetes: Contribution of class I alleles and influence of class I subdivision in susceptibility to type 1 Diabetes.	栗田 卓也	第一内科
Intern Med 2007年 7月	Blockade of IL-2 receptor suppresses HTLV-I and IFN- γ expression in patients with HTLV-I-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis.	福島直美	第一内科
Dement Geriatr Cogn Disord 2007年 3月	Total tau protein in cerebrospinal fluid and diffusion-weighted MRI as an early diagnostic marker for Creutzfeldt-Jakob disease.	佐藤克也	第一内科
World J Gastroenterol 2007年	Clearance of hepatitis C virus after living-donor liver transplantation in spite of residual viremia on end date of interferon therapy before transplantation.	市川辰樹	第一内科
Hep Intl 2007年 2月	Role of growth hormone, insulin-like growth factor 1 and insulin-like growth factor-binding protein 3 in development of non-alcoholic fatty liver disease.	市川辰樹	第一内科
Stem Cells 25: 2956-2963, 2007	Acceleration of sensory neural regeneration and wound healing with human mesenchymal stem cells in immunodeficient rats	Imaizumi T, Akita S, Akino K, Hirano A	形成外科
J Craniofac Surg 18: 1466-1470, 2007	Traumatic unilateral temporomandibular joint dislocation overlooked for more than two decades	Nakashima M, Yano H, Akita S, Tokunaga K, Anraku K, Tanaka K, Hirano A	形成外科
J Craniofac Surg 18: 1164-1169, 2007	Combined surgical excision and radiation therapy for keloid treatment	Akita S, Akino K, Yabake A, Imaizumi T, Tanaka K, Anraku K, Yano H, Hirano A	形成外科
Aids. Res. Hum. Retrovir. 2007年5月	The polymorphisms in DC-SIGNR affect susceptibility to HIV type 1 infection.	Wichukchinda N, T, Ariyoshi K	感染症内科
Infect Genet Evol. 2007年6月	Bayesian network analysis of resistance pathways against HIV-1 protease inhibitors.	Deforche K, Ariyoshi K,	感染症内科
Am. J. Trop. Med. Hyg. 2007年12月	Lack of Efficacy of High-Dose Intravenous Immunoglobulin Treatment of Severe Thrombocytopenia in Patients with Secondary Dengue Virus Infection.	Dimaano EM, Saito M,	感染症内科
The Journal of Prosthetic Dentistry · 2007年	Dynamic mechanical properties of hard, direct denture relining resins	Murata H. et al	第二補綴科

Clinical Neurophysiology 2007年	Effect of low-level clenching and subsequent muscle pain on exteroceptive suppression and resting muscle activity in human jaw muscles	Torisu T. et al.	第二補綴科
Ophthalmic Res 39: 308-314, 2007	Acute corneal epithelial change after instillation of benzalkonium chloride evaluated using a newly developed in vivo corneal transepithelial electric resistance measurement method.	上松聖典	眼科
臨床眼科 61: 357-360, 2007	硝子体手術前後の乳頭周囲網膜神経線維層厚の変化の検討	築城英子	眼科
日本眼科紀要 58: 657-660, 2007	ペバシズマブ硝子体内注射が有効であった網膜血管腫増殖の1例	築城英子	眼科
Clin Chem 53 (6), 2007	Circulating cell-free placental mRNA in the maternal plasma as a predictive marker for twin-twin transfusion Syndrome.	Miura K	産科婦人科
Gynecol Oncol 106 (3), 2007	Genital human papilloma virus infection in mentally-institutionalized virgins.	Shimada T	産科婦人科
Journal of Anesthesia 2007.8	Epidural ropivacaine infusion for the treatment of pain following axillary muscle-sparing thoracotomy : a dose-evaluation study.	境 徹也	麻酔科
Journal of Clinical Anesthesia 2007.3	Preadministration of flurbiprofen suppresses prostaglandin production and postoperative pain in orthopedic patients undergoing tourniquet inflation.	高田 正史	麻酔科
Leukemia 21: 1212-1217, 2007	Small number of HTLV-I-positive cells frequently remains during complete remission after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation that are heterogeneous in origin among cases with adult T-cell leukemia/lymphoma.	宮崎 泰司	原研内科
Leuk Res 31: 907-14, 2007	Clinical features and outcome of T-lineage acute lymphoblastic leukemia in adults: A low initial white blood cell count, as well as a high predict decreased survival rate.	宮崎 泰司	原研内科
Blood 110: 2231-34, 2007	Donor-derived DNA in fingernails among recipients of allogeneic hematopoietic stem-cell transplants.	今西 大介	原研内科
J Clin Oncol 25: 1-7, 2007	VCAP-AMP-VECP compared with biweekly CHOP for adult T-cell leukemia-lymphoma: Japan Clinical Oncology Group Study JCOG9801.	塙崎 邦弘	原研内科
Iut.J.Lab.Hemakl 2007.3	Rapid and high resolution detection of Ig gene rearrangement using PCR and MCA	Uemura.A	検査部
Diagn miaobiol. Tufect Dij 2007.1	Rapid and accurate detection of pseudomonas aeruginosa by R-T PCR with MCA targeting gyrB gene	Moshime Y	検査部

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者氏名を記入すること。

(様式第12) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 江口 勝美		
管理担当者氏名	放射線部長 上谷 雅孝 総務課長 田島 英三郎	薬剤部長 佐々木 均 医事課長 東家 廣典	

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録		各診療科	病院日誌は総務課、処方せんは薬剤部、エックス線写真は放射線部、その他は各診療科で保存
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課、医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	患者サービス課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	患者サービス課	
確規保則の第9条の23条及び第11条の各号に掲げる体制	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者サービス課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	患者サービス課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	患者サービス課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	患者サービス課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	患者サービス課	

			保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の1各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御教育センター、総務課	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御教育センター、総務課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御教育センター、総務課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	感染制御教育センター	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME機器センター	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	ME機器センター	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	丸野 和年
閲覧担当者氏名	田島 英三郎
閲覧の求めに応じる場所	総務課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延	0 件
閲 覧 者 別	医 師	延 件
	歯 科 医 師	延 件
	国	延 件
	地 方 公 共 団 体	延 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	74. 3%	算 定 期 間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算 A : 紹 介 患 者 の 数			12,893人
出 B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			10,632人
根 C : 救急用自動車によって搬入された患者の数			1,036人
拠 D : 初 診 の 患 者 の 数			22,421人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> (2名) • 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> (4名) • 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="radio"/> • 無
・ 所属職員： 専任（2）名 兼任（11）名 ・ 活動の主な内容：	
医療事故防止委員会の運営支援、インシデントレポートの分析、リスクマネージャーとの連絡調整、安全管理に関する教育・研修、安全管理に関する情報の収集	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="radio"/> • 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="radio"/> • 無
・ 指針の主な内容： 「安全管理・報告体制」「本院における安全管理に関する基本的な考え方」「安全管理のための組織に関する基本的事項」「医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針」「本院における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策に関する基本指針」「医療事故発生時の対応に関する基本指針」医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針」「患者からの相談への対応に関する基本指針」「その他医療安全の推進のための必要な基本指針」	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年36回
・ 活動の主な内容： ・ 医療事故防止委員会 ・院内インシデント・アクシデント報告等情報収集 （月1回開催） ・医療事故防止のための具体的対策等の検討及び推進 ・医療事故防止のための教育及び研修等の決定 ・安全管理部会 ・安全管理に関する事項の報告 （月1回開催） ・リスクマネージャー会議・インシデント・アクシデントレポートの分析の報告 （月1回開催）	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年21回
・ 研修の主な内容：別紙のとおり	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 ・ その他の改善の方策の主な内容：	(<input checked="" type="radio"/> • 無) (別紙のとおり)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有) 無
<ul style="list-style-type: none">・指針の主な内容：（院内感染対策マニュアル内にも記載） <p>1) 院内感染対策に関する基本的考え方、2) 院内感染対策委員会の設置、3) 職員研修、4) 病院感染発生時の対応、5) 感染対策マニュアル、6) 患者への情報提供と説明、7) その他の病院における院内感染対策の推進</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年11回
<ul style="list-style-type: none">・活動の主な内容： <p>院内感染対策委員会 原則として月1回開催（出席率 95%） 主にICT会議で協議・問題提起された事項やその他重要な 感染症の予防及び発生対策に関する事項を審議する。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3回
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容： <ol style="list-style-type: none">1 7月18日 血管内カテーテルに関連した感染対策2 12月10日, 12日 ①院内感染対策に役立つ微生物の基礎知識②院内感染対策－当院のルーラー3 3月27日 抗菌薬適正使用 ①抗菌薬使用状況報告 ②各科の方針 ③感染症専門医の意見	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・病院における発生状況の報告等の整備 (有)・その他の改善のための方策の主な内容： <p>・病院内ホームページに感染対策マニュアルを掲載し最新のものを閲覧可能としている ・院内感染対策委員会のみではなく、ICT会議でも周知を行っている（毎月）。 ・診療科長などへのメールでの通知</p>	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容 : <p>薬剤部におけるメディケーションエラーの防止対策</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 手順書の作成 <input checked="" type="radio"/> 有・無 業務の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> 院内発生副作用情報の収集並びに院内周知 病棟救急カート薬剤の定期的な数量及び使用期限の確認 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 医薬品に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="radio"/> 有・無 その他の改善のための方策の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> 薬剤取り違え防止を目的とした、軟膏、クリーム剤、散剤及び液剤の計量調剤時の各鑑査システムでの薬剤のバーコードを利用した調剤 麻薬事故防止を目的に、麻薬注射薬の1本渡し方式の導入 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有・無)
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年12回以上
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容 :・ 適正な操作方法・ 始業点検、使用中点検などの方法・ 注意事項など	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 計画の策定 (有・無)・ 保守点検の主な内容 :・ 外観点検・ 性能点検・ 定期消耗部品交換など	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)・ その他の改善の方策の主な内容 : <p>日本臨床工学技工会、長崎県臨床工学技工会、メーカー等からの情報収集 ME機器センターより院内各部署向けに安全使用情報を発信、部署毎の研修会も実施</p>	

(別紙)

⑦医療に係る安全管理のための職員研修の開催状況 年21回

【研修の主な内容】

全職員対象 (8回実施)

1. 医療安全推進週間 第1回安全管理研修会 (3回実施)
6/26、28、29、DVD講習 計1427名
2. 第2回安全管理研修会 2/8、DVD講習会 (3/13, 14) (3回実施)
計1035名
3. 第3回安全管理研修会 3/12 計548名 (1回実施)
4. AED研修会 101名 (検査部職員、事務職員) (1回実施)
5/28~6/1 (5日間)

新任者オリエンテーション (新採用看護師、研修医) (10回実施)

- 4月 講義: 安全管理について (4/2) 看護師、研修医
実技演習: 輸液ポンプ・シリンジポンプ 看護師、研修医
- 6月 講義: 輸血について 看護師対象 6/13、6/15
- 8月 講義: 静脈注射のための研修 看護師対象 8/21、8/25
- 2月 KYT研修 (2回) 他職種合同
2/22、27

中途採用者研修 (医師、看護師) (3回実施)

11/29, 30
3/24

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)
- ・ その他の改善の方策の主な内容:
 - ・ 医療事故防止対策マニュアルの改訂
 - ・ インシデントレポート報告システムの改良
 - ・ 安全管理部部員による院内巡視
 - ・ 医療安全ポケットマニュアルの作成・配布
 - ・ インフォームド・コンセントガイドライン作成
 - ・ 安全管理部カンファレンス(週1回実施)